

細菌芽胞に対する「殺菌剤組成物」で特許取得 大阪府立大学との共同研究

攝津製油株式会社（代表取締役社長：大前敏和）は、化成品事業を展開し、食品工場・外食産業向けの「総合衛生管理」に基づいた業務用洗剤や、化粧品・医薬部外品等を製造販売しております。このたび、食品衛生上問題となる細菌芽胞に対して効果のある「殺菌剤組成物」で特許を取得いたしましたのでお知らせいたします。

【特長】

食品工場向け殺菌剤として広く使用されているポリヘキサメチレンピグアナイド（PHMB）をアルカリ剤などと組み合わせることにより、極めて殺菌しにくい細菌芽胞に対して、室温・短時間の作用で優れた殺菌効果を発揮することを発見しました。この組成物には洗浄成分を配合することも可能なため、食品工場などで今まで使用してきた除菌洗浄剤と同様の使用方法で、細菌芽胞を効果的に殺菌することが可能となります。

攝津製油では本特許技術を、設備に対する腐食性や臭気などに課題のある従来の殺菌剤（塩素系の次亜塩素酸ナトリウム、グルタラール等のアルデヒド類や、酸化剤の過酢酸など）に代わる、簡便な細菌芽胞の殺菌方法として食品加工工場を中心に展開しております。

【特許の概要】

- 特許番号：特許第6409201号
- 特許出願日：2015年 3月4日
- 特許取得日：2018年10月5日
- 特許権者：攝津製油株式会社（大阪府堺市西区築港新町1丁5番地10）
大阪府立大学（大阪府堺市中区学園町1番地1号）

【その他】

本成果に関しては、2015年10月開催の「日本防菌防黴学会第42回年次大会」で発表しております。

リリースに関するお問合せ先 攝津製油株式会社 営業部
TEL：072-280-0920 大阪府堺市西区築港新町1丁5番地10